

第2回 日本心血管インターベンション学会 東北地方会 プログラム

日 時：平成9年7月26日（土）午前10時00分より
場 所：斎藤報恩会館

仙台市青葉区本町2丁目20番2号

TEL 022(262)5506

当番事務局 山形県立中央病院 内科

〒990 山形市桜町7-17

TEL 0236(23)4011

FAX 0236(33)4775

学術集会会長 荒木隆夫（山形県立中央病院 内科）

- ・ 演者は発表予定時刻の30分前にスライドの受付を済ませてください。
- ・ 演題は一題につき発表時間6分、討論時間6分です。討論時間を多くとりたいので、発表時間を厳守してください。なお、スライドは10枚まで、シネフィルム及びビデオテープは1巻に編集してください。
- ・ 会場には35ミリスライドプロジェクター、シネプロジェクター、ビデオプロジェクター（SVHS）を用意します。
- ・ 参加費として2,000円を徴収させていただきます。

— 午 前 の 部 —

開会の辞 (9:58~10:00)

演 題 1~4 (10:00~10:48)

座 長 木 島 幹 博 (星総合病院 循環器科)

青 木 英 彦 (岩手医科大学付属循環器医療センター 内科)

1) CABG後吻合部狭窄の1例

八戸市立市民病院 第3内科

横山 仁、菊池 文孝、吉町 文暢、樋熊 拓未、虻川 輝夫

2) 特発性血小板減少症に合併した、冠動脈ステント再狭窄による不安定狭心症の1例

岩手医科大学付属循環器医療センター 内科

赤津 智也、深見 健一、青木 英彦、鈴木 知己、佐藤 紀雄、栗城 聡、谷口 泰子、伊藤 智範、
伊藤 正博、折祖 清蔵、三浦 秀悦、菊池 研、平盛 勝彦

3) 左前下行枝完全閉塞後の左回旋枝狭窄に対して、PTCA、Stent留置を施行するも再狭窄を繰り返す、
ネフローゼ症候群の1例

仙台市医療センター・仙台オープン病院 循環器内科

加藤 敦、佐藤 文敏、柴 信行、堀口 聡、竹内 雅治

4) 冠動脈内膜切除術後の狭窄病変に対するPTCAに血管内エコー所見が有用であった1例

岩手県立中央病院 循環器科

野崎 英二、若山 裕司、高橋 徹、朴沢 英成、杉 正文、大浦 弘之、田巻 健治

岩手県立中央病院 心臓血管外科

垣畑 秀光

演 題 5～7 (10:48～11:24)

座 長 盛 勇 造 (青森市民病院 第2内科)

加 藤 敦 (仙台オープン病院 循環器内科)

- 5) W-ステント及びPSステント挿入困難例にCordisステントが有効であった1例

星総合病院 循環器科

佐藤 栄一、山口 望、清野 義胤、渡辺 直彦、木島 幹博

- 6) PS stent、Wiktor stentが不通過でGR2 stentが通過した狭心症症例

(財)大原総合病院附属大原医療センター 循環器科

朝倉 司、後藤 淳、渡辺 康之、阿部 之彦

- 7) Palmaz-Schatzステント後に再狭窄をきたした左前下行枝近位部病変の1例

秋田大学医学部 第2内科

清水 博、小林 政雄、阿部 豊彦、長谷川 仁志、小坂 俊光、小川 康彦、鈴木 玄、
阿部 元、飯野 健二、寺田 健、木村 州孝、松岡 一志、三浦 博

秋田県成人病医療センター 循環器科

佐藤 匡也

演 題 8～10 (11:24～12:00)

座 長 後 藤 敏 和 (山形県立中央病院 内科)

油 井 満 (いわき市立総合磐城共立病院 循環器内科)

- 8) LMT equivalent lesionに対するintervention

秋田県成人病医療センター 循環器科

佐藤 匡也、泉 学、阿部 芳久、門脇 謙、熊谷 正之

- 9) 3個のステント植え込みをした左主幹部閉塞狭心症の1例

青森市民病院 第2内科

平賀 仁、今岡 泰郎、今田 篤、三上 雅人、盛 勇造

- 10) 左主幹部AMIに対しrescue stentingにて救命しえた1例

東北厚生年金病院 循環器科

片平 美明、菅原 重生、秋保 洋、菅野 孝幸、仁田 桂子、田中 元直

— 午 後 の 部 —

特 別 講 演 (13:15~14:15)

座 長 荒 木 隆 夫 (山形県立中央病院 内科)

経橈骨動脈アプローチによる冠動脈インターベンション

湘南鎌倉総合病院 循環器科部長 齋藤 滋 先生

演 題 11~13 (14:15~14:51)

座 長 武 田 久 尚 (宮城県立瀬峰病院 循環器科)

野 崎 英 二 (岩手県立中央病院 循環器科)

11) 当院におけるGR II Stentの初期成績

いわき市立総合磐城共立病院 循環器内科

油井 満、山尾 秀二、上嶋 徳久、千葉 良文、蛭田 義宗、市原 利勝

12) Wiktor Stentの長期予後

仙台厚生病院 心臓センター

赤津 賢彦、日黒 泰一郎、遠藤 閑夫、寺嶋 正佳、阿部 真也、密岡 幹夫、菊地 雄一、
渡辺 睦生、滝澤 要

13) 血管内異物回収の1例

庄内余目病院 循環器科

柳町 栄司、山本 慎吾

————— 休 憩 (14:51~15:10) —————

演 題 14～16 (15:10～15:46)

座 長 菊 池 文 孝 (八戸市立市民病院 第3内科)

牧 一 彦 (秋田組合総合病院 循環器科)

- 14) トランジットカテーテル (Cordis) が有用であった左前下行枝入口部慢性閉塞病変の2例
国立仙台病院 循環器科
木下 弘志、興野 春樹、越田 亮司、井上 寛一、貴田岡 成憲
- 15) 分枝角度が急峻な左回旋枝起始部に生じたアコーディオン現象の確認にトランジットカテーテルが有用であった1例
岩手県立中央病院 循環器科
朴沢 英成、野崎 英二、若山 裕司、高橋 徹、杉 正文、大浦 弘之、田巻 健治
フランクフルト赤十字病院
加藤 修
- 16) ロータブレーターの使用経験
仙台厚生病院 心臓センター
密岡 幹夫、目黒 泰一郎、遠藤 閑夫、寺嶋 正佳、阿部 真也、菊地 雄一、赤津 賢彦、
渡辺 睦生、滝澤 要

演 題 17～20 (15:46～16:34)

座 長 佐 藤 匡 也 (秋田県成人病医療センター 循環器科)

遠 藤 閑 夫 (仙台厚生病院 心臓センター)

- 17) GRⅡ冠動脈ステント植え込み術後、Bail-outに難渋したSubacute thrombosisの1例
岩手県立磐井病院 循環器科
中村 紳、小松 隆、蓬田 邦彦
弘前大学医学部 第2内科
奥村 謙
- 18) Ballooningしてない末梢部にもびまん性狭窄を来したin stent restenosisの1例
仙台徳洲会病院 循環器科
渡辺 正之、菅野 裕幸、尾形 公彦

19) 冠穿孔はlong inflationにより回避したが、spiral dissectionを回避し得なかった1例

山形県立中央病院 内科

川島 祐彦、荒木 隆夫、後藤 敏和、矢作 友保、赤井 健次郎、宮本 貴庸、山口 裕之、
三引 義明、金子 一善、横山 紘一

20) 当院における冠動脈穿孔合併例の検討

秋田組合総合病院 循環器科

牧 一彦、佐々木 弥、金澤 明彦、関 啓二、村山 仁、新田 格

閉会の辞 (16:34～)

日本心血管インターベンション学会東北地方会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は日本心血管インターベンション学会(Japanese Society of Interventional Cardiology)東北地方会と称する。
- 第2条 本会は心血管インターベンションの東北地方での臨床研究の推進とその成果の普及をはかり、これを通じて心血管罹病患者の診断、治療の向上及び学術文化の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1) 学術集会の開催
(2) 研究、調査及び実地教育
(3) 内外の関係学術団体との連絡及び協力
(4) その他本会の目的を達成するために必要とされる事業
- 第4条 本会の事務局は山形県立中央病院内に設置する。事務局は事務局代表及び事務局代表代行からなり、会議議事録の作成、連絡業務、会計業務など、会の円滑なる運営に関する業務を行う。

第2章 会員及び会費

- 第5条 本会の会員は日本心血管インターベンション学会の会員とする。
- 第6条 学術集会参加費をもって会費とする。

第3章 役 員

- 第7条 本会は次の役員をおく。
(1) 幹事
(2) 評議員
(3) 学術集会会長 1名
(4) 事務局代表及び事務局代表代行 各1名
(5) 会計監査 2名
- 第8条 本会の役員は次の各項の規定によって選任される。
(1) 評議員は幹事2名以上の推薦で評議員会で決定する。
(2) 学術集会会長は幹事の中から幹事会の議決を経て、評議員会の承認を受けて選任される。任期は前学術集会終了の翌日から当該学術集会の終了の日までとする。
(3) 事務局代表及び事務局代表代行は、会員の中から事務局の推薦により幹事会の承認を受けて選任される。

第4章 会議並びに委員会

第9条 本会は会務を行うために次の会議をおく。

- (1) 幹事会
- (2) 評議員会

第10条 幹事会は次の規定にしたがって行う。

- (1) 幹事会は学術集会の際に開催し、議長は学術集会会長とする。
- (2) 学術集会会長は必要に応じて臨時幹事会を招集することができる。
- (3) 事務局代表及び事務局代表代行は、議事録作成のため幹事会及び臨時幹事会に出席する。

第11条 評議員会は次の規定にしたがって行う。

- (1) 定期評議員会の議長は学術集会会長とし、定期学術集会の会期中に招集する。
- (2) 学術集会会長は必要に応じて臨時評議員会を招集することができる。
- (3) 事務局代表及び事務局代表代行は、議事録作成のため定期及び臨時評議員会に出席する。

第5章 補則

第12条 本会の会則は、幹事会の議決を経て、かつ評議員会の承認を受けなければ変更することができない。

施行補則

- (1) 学会会則の施行は平成8年9月25日とする。
- (2) 移行措置：東北心血管カテーテル治療研究会の現会員は日本心血管インターベンション学会東北地方会会員として移行する。
東北心血管カテーテル治療研究会の常任評議員は日本心血管インターベンション学会東北地方会幹事として移行する。
東北心血管カテーテル治療研究会の評議員は日本心血管インターベンション学会東北地方会評議員として移行する。
東北心血管カテーテル治療研究会の財産は日本心血管インターベンション学会東北地方会の財産として移行する。

幹 事

荒木 隆夫 山形県立中央病院 内 科
 門脇 謙 秋田県成人病医療センター 循環器科
 木島 幹博 星総合病院 循環器科
 田巻 健治 岩手県立中央病院 循環器科
 深見 健一 岩手医科大学 第2内科
 三国谷 淳 弘前大学医学部 第2内科
 目黒 泰一郎 仙台厚生病院 循環器科
 横山 紘一 山形県立中央病院 内 科

会計監査

佐藤 匡也 秋田県成人病医療センター 循環器科
 武田 久尚 宮城県立瀬峰病院 循環器科

評 議 員

(青森県)

○菊池 文孝 八戸市立市民病院 第3内科
 佐藤 充 弘前中央病院 内 科
 藤野 安弘 弘前大学医学部 第2内科
 三国谷 淳 弘前大学医学部 第2内科
 盛 勇造 青森市民病院 第2内科

(秋田県)

門脇 謙 秋田県成人病医療センター 循環器科
 小林 政雄 秋田大学医学部 第2内科
 佐々木 弥 秋田組合総合病院 循環器科
 ○佐藤 匡也 秋田県成人病医療センター 循環器科
 関口 展代 平鹿総合病院 第2内科
 高橋 正喜 秋田中通病院 循環器科

(岩手県)

青木 英彦 岩手医科大学 第2内科
 小松 隆 岩手県立磐井病院 循環器科
 ○田巻 健治 岩手県立中央病院 循環器科
 中川 誠 岩手県立胆沢病院 内 科
 野崎 英二 岩手県立中央病院 循環器科

○深見 健一 岩手医科大学 第2内科
 茂木 格 北上済生会病院 循環器科

(宮城県)

内田 達郎 仙台循環器病センター 内 科
 遠藤 閑夫 仙台厚生病院 循環器科
 尾形 公彦 仙台徳洲会病院 内 科
 小鷹 日出夫 坂総合病院 循環器内科
 小田倉 弘典 仙台市立病院 循環器科
 片平 美明 東北厚生年金病院 循環器科

○加藤 敦 仙台オープン病院 循環器内科
 貫田岡 成憲 国立仙台病院 循環器科

○武田 久尚 宮城県立瀬峰病院 循環器科
 三浦 正悦 古川市立病院 内 科

○目黒 泰一郎 仙台厚生病院 循環器科
 (山形県)

○荒木 隆夫 山形県立中央病院 内 科
 五十嵐 秀 山形市立病院済生館 内 科
 五十嵐 裕 鶴岡市立荘内病院 内 科
 小熊 正樹 山形県立日本海病院 内 科
 後藤 敏和 山形県立中央病院 内 科
 白壁 昌憲 山形大学医学部 第1内科
 藤野 彰久 米沢市立病院 内 科
 ○横山 紘一 山形県立中央病院 内 科

(福島県)

○木島 幹博 星総合病院 循環器科
 菅家 道人 福島県立会津総合病院 内 科
 鉄地川原 正顕 太田西ノ内病院 循環器科
 廣坂 朗 福島県立医科大学 第1内科
 前山 忠美 いわき市立常磐病院 循環器科
 ○油井 満 いわき市立総合共立病院 循環器内科
 渡辺 直彦 星総合病院 循環器科

(○：全国評議員)

齋藤報恩会館案内図

